

第64回四国工業教育研究協議大会 教育長祝辞

令和7年8月20日（水）
松山工業高校

第64回四国工業教育研究協議大会の開催に当たり、一言お祝いを申し上げます。

本日は、文部科学省教育課程調査官の内藤（ないとう） 敬（たかし）様、全国工業高等学校長協会理事長の守屋（もりや） 文彦（ふみひこ）様をはじめ、工業教育に携わっておられる多数の皆様を愛媛の地にお迎えして、本大会が盛大に開催されますことを、大変喜ばしく存じますとともに、皆様の御来県を、心から歓迎いたします。

また、四国工業教育研究会におかれましては、長年にわたり、工業教育の充実と発展を通じて、有為な人材の育成に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、高度専門人材の不足や労働生産性の低迷が課題となる中、国は第4期教育振興基本計画で、「キャリア教育・職業教育の推進」を基本施策の一つに掲げて、社会的・職業的自立に向けて必要となる子供たちの資質・能力の育成に取り組んでおります。

このような中、本県におきましては、地域や産業界の人的・物的資源を最大限に活用し、県内企業への理解を深める取組を通じて、将来の地域産業を支える専門的職業人の育成を図り、地域産業の発展や若者の地元定着につなげているところです。

特に、工業高校においては、これまで、企業の技術者等に実技指導や講演を行っていただく「匠の技教室」や、優れた技術力等を有する県内企業での体験研修を通して、生徒が実践的な技能を学ぶ機会を提供しておりますが、昨年度は、「高校生ものづくりコンテスト全国大会」やトルコで開催された「WRO国際大会」で優勝するなど成果が表れてきており、子供たちが、専門的な技術や技能をしっかりと身に付け、世界有数の高い技術力を持つ日本のものづくり産業を担う工業技術者として、

たくましく成長していることを大変心強く感じております。

本大会では、本日からの二日間にわたり、工業教育の更なる発展に向けて、それぞれの専門分野の指導上の諸問題について、協議いただくと伺っています。皆様方には活発に議論され、学習指導の改善の糸口を見いだす契機となりますとともに、お互いの連携を深められる有意義な会となりますことを心から期待いたしております。

結びに、四国工業教育研究会のますますの御発展と、御参会の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。